

経済や社会がグローバル化する中で、厚生労働行政においても、国際的な見地から政策課題に取り組むことも不可欠になってきています。以下では、数理職員が活躍する国際業務についてご紹介します。

国際業務 >>> 大臣官房国際課

厚生労働省の国際業務は、大臣官房国際課が中心となり、保健医療 (Health) ・労働 (Labour) ・社会保障 (Welfare) 等の分野の国際的な課題に積極的に対応しています。主な施策として、①国際機関への参加・協力、②「人づくり」を通じた国際社会への貢献、③対外経済問題への対応、④海外情報収集・提供などがあり、様々な職種の職員が集まって仕事をしています。

大臣官房国際課には、現在2名の数理職員が配属され、それぞれ以下の業務を担当しています。

国際経済機関係

経済協力開発機構 (Organisation for Economic Co-operation and Development: OECD) は加盟国のデータ・政策を収集し、議論を通して政策提言を行う国際機関です。この係では、主に OECD 案件の厚生労働省の窓口を担い、OECD が作成した報告書などの事前協議への対応やパリで行われる OECD の国際会議に年数回、日本政府を代表して出席するのが仕事です。

数理職員は、主に労働・年金・移民分野を担当しており、国際会議に出席した際には、日本が進めている政策について各国に紹介しています。

パリの凱旋門



海外情報係

海外情報係では、諸外国の社会保障、雇用・労働、保健医療政策の実態などについて情報収集を行い、関係部局へ情報提供を行っています。収集した情報は、毎年海外情勢報告として取りまとめ、公表しています。その中で数理職員は、専門的な知見を生かして分野横断的な情報収集を行い、取りまとめのうえで、省内外に情報提供しています。

COLUMN

国際協力で活躍する数理職員

数理職員は、国際協力の場でも活躍しています。

公的年金等の社会保障制度は、先進国では長い歴史を有し、それぞれ独自の発展を遂げていますが、発展途上国では、これから制度を創設する国やまさに制度が発足したばかりという国が多くあります。これらの国では一般的に制度運営のノウハウに乏しく、日本の運営のノウハウや経験 (失敗の経験も含め) が必要とされています。

数理職員は、社会保障制度を持続可能とするために不可欠な数理計算に関し、現地職員の能力向上などの協力が期待されており、国際協力でも数理職員の活躍の場が広がっています。

モンゴル社会保険実施能力強化プロジェクトに参加して

年金局 山崎一郎

モンゴル国政府は日本に対して、社会保障分野における関係職員の能力向上等を内容とする技術協力を要請し、国際協力機構 (JICA) では、2016年から約5年間、モンゴルの社会保険制度を支援する協力プロジェクトが実施されています。

モンゴルでは1958年に年金法が成立し、現在では会社勤めの方は強制加入、自営業者や遊牧民などは任意加入とする年金制度が運営されており、年金による高齢期の所得保障が行われています。

現在の年金制度の枠組みに関する制度面の課題として、たとえば年金給付水準の適正化や年金基金の運用の在り方、運営面の課題としては、たとえば遊牧民等のインフォーマルセクターの加入促進や、年金加入者及び受給者の加入記録の整備などが指摘されています。

そこで、協力プロジェクトでは、モンゴル医療・社会保障庁の社会保険適用、保険料徴収及び給付に関する能力の強化を目標として、社会保険実務や年金数理などに関する研修が行われ、私も2019年の5月と11月に年金数理の専門家として、プロジェクトに参加させていただきました。

プロジェクトでは、日本の年金財政に関する将来見通し (財政検証) について、見通しの作成過程から結果、結論までご説明し、財政検証にはどのようなデータが必要で、どのような推計を示しているのかをご紹介します。

社会経済の状況が変われば、社会制度もこれまでとは異なる観点での考え方が必要になることがあります。先方の担当者からは毎回非常にたくさんの質問をいただくのですが、そこで感じたのは、現在、モンゴルの年金制度に最も必要なことのひとつとして、国民に関するデータを整備することや、年金財政の見通しを精緻に推計し、国の財政の持続可能性を検証することだと考えている段階にあるようだということです。

プロジェクトを通じて、日本とは異なる文化や社会経済状況にある国のことを知れたことは楽しい経験でした。また、日本の数理職員のノウハウが外国で必要とされていること、世界のほんの一部かもしれませんが、社会をよりよいものにできたのかもしれないということに喜びが得られた経験でもありました。



プロジェクト参加のときの集合写真。筆者が一番右奥。